

**科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化(平成25年度採択分)**  
**「防災科学を推進する総合医学雑誌としての編集体制の構築と国際競争力の強化」**  
 (課題番号:252007)

学術団体名: 東北ジャーナル刊行会

学術刊行物の名称: THE TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE

事業期間: 平成25年度～平成29年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

Tohoku J. Exp. Med. (TJEM) は、1920年の創刊以来、重要な医学研究の成果を世界に発信し続けており、我が国の代表的な総合医学雑誌として国際的にも評価されている。2004年にはオープンアクセス化を達成し、全掲載論文が誰でも自由に入手可能となっている。TJEM誌は医学関連の全領域を対象とする英文総合医学雑誌であるが、東日本大震災を契機に、対象分野として、新規に災害科学を加えた。今後、防災科学を推進する TJEM 誌としての国際情報発信力の強化を目指す。そこで下記の計画を実施する。

- 1) 編集体制の強化。東日本大震災を契機に、TJEM誌の対象分野として、減災・防災という観点から災害科学の領域を加えたため、新たな編集体制を構築する。
- 2) 刊行体制の強化。全文XML形式を導入し、読者の利便性を向上させる。
- 3) 広報宣伝活動の強化。Nature誌に広告を掲載する。さらに、TJEM誌に招待総説を積極的に掲載する。

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

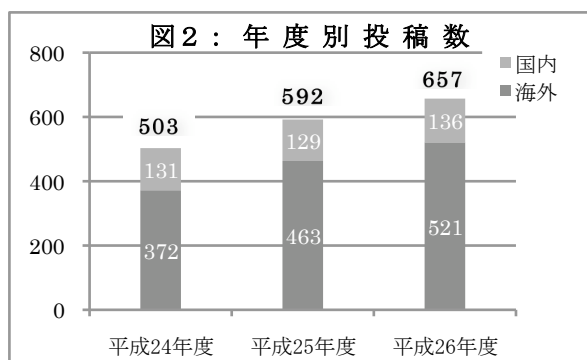
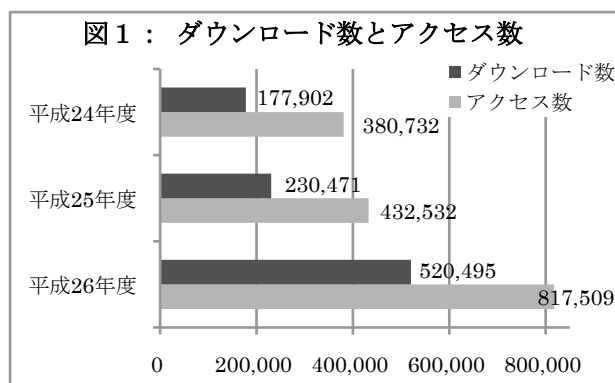
上記計画を堅実に実行している。その結果、ダウンロード数(図1)と海外からの投稿論文数(図2)が顕著に増加した。毎年、投稿論文の約80%は海外からであり、これほど国際的に支持されている国内雑誌は他に例がない。また、平成26年度の投稿論文数は657編に達し、これまでの最多記録を更新した。さらに、震災関連論文の掲載が順調に増加している(2015年には10編を掲載した)。

一方、投稿論文の採択率は20%程度で推移しており、新編集体制による厳格な論文審査が実施されている事が示唆される。平成27年度(10月末現在)も、順調な投稿状況であり、国際情報発信強化の目標達成の見通しは明るい。

### ・今後の計画

的確、公平かつ迅速な論文審査こそ最大の著者サービスであると考えている(平成25年度以降、平均査読日数15日)。よって、本事業により新たに構築した編集体制の下で編集業務を継続すると共に、広報活動を推進する。

増加するオンライン雑誌と論文の洪水とも言うべき現状において、TJEM誌が国際競争力を強化し、さらに発展していくために、研究の流行にとらわれることなく、多様な分野の質の高い論文を掲載していく。



**Tohoku J. Exp. Med. は  
2020年に100周年を迎えます。**